

教科	科 目	単位数	学年・クラス
共創	未咲輝学 I	1	1 年 1 組・2 組

1 使用教材

使用教科書	持続可能な地域のつくり方 未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン
出版社	英治出版
副教材等	－
出版社	－

2 学習の目標

1	地域課題を発見し解決するという活動を通して、判断力やコミュニケーション力などを高める。
2	地域や自分のふるさとへの理解を深める。
3	持続可能なまちづくりのリーダーに必要な知識や資質について学ぶ。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	学習内容を自分ごととして捉え、探究活動に意欲的に取り組むことができる。
② 思考・判断・表現	必要な情報を適切に収集・分析することで、自分の考えをまとめた上で表現することができるとともに、他者と協働しながら探究活動を行うことができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	学習した内容を踏まえ、課題の解決やより良い集団作りのために自分にできることを理解し、実践することができる。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
授業への取組	A	A	B	授業態度など
提出物・作品	A	A	C	指示した時期に提出
発表・プレゼン	C	B	A	内容ごとに実施

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学 期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	地域おこしとは 地域見学 佐田岬半島ミュージアム 佐田岬灯台 あこう樹 須賀公園 伊方発電所	「地域おこし」とはどのような活動であるのかということを理解する。 自分が地域にどのように関わることができるのかを考える機会とする。 佐田岬半島の自然・歴史・文化・産業について理解を深めるとともに、地域の魅力や課題を自分事として捉え、今後の探究活動につなげる力を育成する。 地域見学を通して、多様な地域資源や地域で暮らす人々の思いに触れ、自ら考え行動しようとする主体性や、地域社会へ参画しようとする態度を育成する。
2 学 期	地域見学 須賀公園 伊方町役場 伊方発電所 拓本体験 裂き織体験 フィールドワーク 三崎地区散策 名取地区散策	地域見学を通して、佐田岬半島で働く人々の姿や地域の現状について理解を深めるとともに、自身の生き方や将来について考えるきっかけとし、自己理解やキャリア形成につなげる。 拓本体験や裂き織体験、地域フィールドワークを通して、佐田岬半島に受け継がれてきた歴史や文化、人々の暮らしへの理解を深め、地域の魅力や価値を多面的に捉える力を育成する。 地域での体験活動やフィールドワークを通して、地域資源や地域課題について理解を深めるとともに、地域の方々の思いや願いに触れ、自ら問いを見いだし、探究活動へつなげる力を育成する。
3 学 期	地域課題の理解 地域課題の発見 学習のまとめ	収集・分析した情報などを基に、深く考察することができる力を身に付ける。 他者と協働することのできる力を身に付ける。 自己評価や相互評価を適切に行い、自らを客観的に振り返る機会とする。